

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	メタルクリーナー CARBO-R NEW
製品説明	炭化水素系洗浄剤(エアゾールタイプ)
会社名	株式会社 ユニケミー
住所	〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬1-11-1
担当部門	技術部
電話番号	(052)682-5069 FAX番号 (052)681-8646
緊急連絡先	同上

2. 危険有害性の要約

エタノール

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入：蒸気)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵, ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A-2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原性	区分1B
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性, 麻醉性)
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(肝臓), 区分2(神経)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
 強い眼刺激
 遺伝性疾患のおそれ
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ
 長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害
 長期または反復暴露による臓器(神経)の障害

2-プロパノール

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分 2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 5
急性毒性(経皮)	区分 5
急性毒性(吸入：蒸気)	区分外
急性毒性(吸入：粉塵，ミスト)	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性：分類できない 皮膚感作性：分類できない
生殖細胞変異原生	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分 2
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分 1， 区分 3 (気道刺激性)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分 2

吸引性呼吸器有害性	区分2
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気
- 飲み込むと有害のおそれ
- 皮膚に接触すると有害のおそれ
- 強い眼刺激
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 中枢神経系, 腎臓, 全身毒性の障害
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 長期または反復暴露による臓器(血管, 肝臓, 脾臓)の障害のおそれ
- 飲み込み, 気道に侵入すると有害のおそれ

メタノール

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	区分外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
急性毒性(吸入: 粉塵, ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A-2B
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: 分類できない 皮膚感作性: 分類できない
生殖細胞変異原生	区分外

発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 1B
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分 1 (中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)
	区分 3 (気道刺激性, 麻酔作用)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分 1 (中枢神経系, 視覚器)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気
 飲み込むと有害の恐れ
 強い眼刺激
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 臓器(中枢神経系, 視覚器, 全身毒性)の障害
 呼吸器への刺激のおそれ, 眠気またはめまいのおそれ
 長期または反復暴露による臓器(中枢神経系, 視覚器)の障害

ヘプタン

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	区分 2
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	分類できない
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入: 蒸気)	区分外
急性毒性(吸入: 粉塵, ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A-2B

呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：分類できない 皮膚：分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分外
生殖毒性	分類できない
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分3(気道刺激性, 麻酔作用)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分2(肝臓)
吸引性呼吸器有害性	区分1

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	分類できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気
- 皮膚刺激
- 強い眼刺激
- (気道刺激性) 呼吸器への刺激のおそれ
- (麻酔作用) 眠気またはめまいのおそれ
- 長期または反復暴露による臓器(肝臓)の障害のおそれ
- 飲み込み, 気道に侵入すると生命に危険のおそれ

1-プロパノール

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	分類できない(但し区分2または区分3)
自然発火性液体	区分外
自己発熱性物質および混合物	分類できない
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉塵, ミスト)	分類できない

皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：分類できない 皮膚：分類できない
生殖細胞変異原生	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 2
標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分 3 (麻酔作用，気道刺激性)
標的臓器／全身毒性(反復暴露)	分類できない
吸引性呼吸器有害性	区分 2

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分外
水生環境有害性(慢性)	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- 引火性の高い液体および蒸気
- 引火性液体および蒸気
- 飲み込むと有害のおそれ
- 皮膚に接触すると有害のおそれ
- 皮膚刺激
- 強い眼刺激
- 発がんのおそれの疑い
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- (気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
- (麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
- 飲み込み，気道に侵入すると有害のおそれ

ブタン

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性／引火性ガス	区分 1
支燃性／酸化性ガス類	区分外

高压ガス

液化ガス

金属腐食性物質

区分外

健康に対する有害性

急性毒性(吸入：ガス)

区分外

皮膚腐食性／刺激性

分類できない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器：分類できない

皮膚：分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

分類できない

標的臓器／全身毒性(単回暴露)

区分3(麻酔作用)

標的臓器／全身毒性(反復暴露)

分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)

分類できない

水生環境有害性(慢性)

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

極めて可燃性／引火性の高いガス

高压ガス；熱すると爆発のおそれ

眠気やめまいのおそれ

注意書き

安全対策

取り扱い注意事項をよく読み、理解してから取り扱う。

熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。

容器は密閉する。

移送、攪拌する場合は、容器及び受器をアースする。

防爆型の機器を使用する。

火花を発生しない工具を使用する。

粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。

換気の良い場所でのみ使用する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しない。

適切な保護手袋，保護眼鏡，保護衣，保護面，保護マスクなどを着用する。

取り扱い後はよく手を洗う。

救急処置

吸入した場合；新鮮な空気のある場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合；口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。

眼に入った場合；流水で15分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合；汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。取り扱った後，手を洗う。

暴露した場合；医師の処置を受ける。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。

保管

容器は密閉して換気の良い場所で保管する。施錠して保管する。

廃棄

内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成，成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

化学名または一般名：	エチルアルコール	2-プロパノール	ヘプタン	メチルアルコール	1-プロパノール	ブタン
含有量：	10～15%	0～3%	45～55%	0.1～0.2%	1～10%	20～30%
別名：	エタノール	イソプロピルアルコール	—	メタノール	n-プロピルアルコール	—
化学式又は構造式：	C ₂ H ₅ OH	C ₃ H ₇ OH	C ₇ H ₁₆	CH ₃ OH	C ₃ H ₈ O	C ₄ H ₁₀
官報公示整理番号(化審法)：	(2)-202	(2)-207	(2)-7	(2)-201	(2)-207	(2)-4
C A S N o .：	64-17-5	67-63-0	142-82-5	67-56-1	71-23-8	106-97-8
国連分類：	クラス 3, 2	クラス 3, 2	クラス 3, 2	クラス 3, 2	クラス 3, 2	クラス 2, 1
国連番号：	1170	1219	1206	1230	1274	1075

4. 応急措置

目に入った場合；直ちに流水で15分以上洗う。速やかに医師の診断を受ける。

皮膚についた場合；大量の水及び石鹼水を使用して十分洗い落とす。痛みやかゆみが残る場合は，医師の手当を受ける。凍傷の手当てを行う。

吸入した場合；蒸気、ガス等を大量に吸引し気分が悪くなった場合、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。大量吸入の場合は、酸素欠乏の措置を行う。

誤飲した場合；水で口を洗浄し、ぬるま湯等を飲ませて吐かせ、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 ①可燃物は、周囲より速やかに取り除く。

②火災にさらされた表面を冷却する。人間を保護するために水噴霧を使用する。

③適切な保護具(耐熱着衣)を使用する。

消 火 剤 炭酸ガス、泡、粉末などの消火剤を使用する。ABC 又は BC 型粉末消火器

6. 漏出時の措置

- ①付近の着火源、高温体等を速やかに取り除く。
- ②作業の際には、適切な保護具(手袋、保護メガネ、防毒マスク)を着用し、風上にて作業をし、他の容器に残液を移し替える。
- ③漏洩した液は、土砂等に吸着させ、空容器に回収し、安全な場所に移す。
- ④付着物、廃棄物等は、関係法規に基づき処置をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ①火気厳禁、周辺での火気、スパーク、高温体の使用を避ける。
 - ②屋内作業場の場合、適切な排気装置を設け、換気を良くして取り扱う。
 - ③皮膚に触れないよう、目に入らぬよう適切な保護具を必要に応じて使用する。
- 保 管
- ①長時間直射日光下に放置しない。
 - ②通気の良い冷暗所に保管する。
 - ③その他消防法などの法令に定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

2-プロパノール：400ppm メタノール：200ppm

許容濃度 (ACGIH, 2006 年)

エタノール：1000ppm (TLV=TWA) 2-プロパノール：400ppm (TLV=TWA) ヘプタン：400ppm (TLV=TWA)
メタノール：200ppm (TLV=TWA) 1-プロパノール(皮)：200ppm (TLV=TWA) ブタン：1000ppm (TLV=TWA)

設備対策 必要に応じて局所排気装置を設ける。

保 護 具 保護メガネ、ゴム手袋、防毒マスク等

9. 物理的及び化学的性質

外 観	無色透明液体	
臭 気	微臭	
沸 点	基剤：78.3～82.4℃	噴射剤 (LPG)：-42.1～-0.5℃
比 重	基剤：0.790 (15℃)	噴射剤 (LPG)：ガス密度 1.895～2.538/m ³
溶 解 度	基剤：水に易溶	噴射剤 (LPG)：水に微溶

10. 安定性及び反応性

引 火 点	基剤：11.8℃	噴射剤 (LPG)：-104.4～-73.8℃
発 火 点	基剤：460℃	噴射剤 (LPG)：405～550℃
自己反応性	なし	
爆発限界	基剤：上限 19vol%	下限：3.3vol% (推定)

	噴射剤 (LPG) : 上限 9.5vol% 下限 : 1.8vol%
安定性	非常に早く気体状態に移る。
その他	特になし

11. 有害性情報

皮膚腐食性	刺激するおそれがある。
刺激性(皮膚、目)	眼に対して刺激性がある。
急性毒性	飲み込むと有害のおそれ。
亜急性毒性	データ無し
慢性毒性	データ無し
変異原性	データ無し
生殖毒性	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。
催奇形性	データ無し

12. 環境影響情報

分解性等、本製品の測定データなし。

13. 廃棄上の注意

- ①事業者は、産業廃棄物を自ら処理するか、又は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。
- ②投棄禁止
- ③埋立処分を行う場合には、あらかじめ焼却装置を用いて焼却し、燃えがらとしての、総理府で定めた基準以下であることを確認しなければならない。
- ④焼却する場合、安全な場所で、かつ焼却又は爆発によって他に危害又は損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに、見張り人をつけること。

14. 輸送上の注意

- ①運搬に際しては、容器に漏れのないことを確認して転倒・落下・損傷がないよう、積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ②指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合は、法令等で定めるところにより、当該車両に標識を掲げること。またその際、当該危険物に該当する消火設備を備えること。

15. 適用法令

消防法 危険物	第四類 第1石油類
水質汚濁防止法	生物化学的酸素要求量規制 (BOD) (160mg/L) 化学的酸素要求量規制 (COD) (160mg/L) BOD、COD 負荷量を上昇させる場合がある。
海洋汚染防止法	該当なし
下水道法	生物化学的酸素要求量規制 (BOD) (5 日間に 600mg/L)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物規制（拡散、流出の禁止）

労働安全衛生法施行令 別表 9 通知対象物に該当する。

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR）
該当しない

16. その他 記載内容の問い合わせ先

(株) ユニケミー 技術部 TEL 052-682-5069

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、製品を取り扱う事業者提供されるものです。この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしも全ての情報を網羅しているものではありません。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。また、含有量、物理的及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。